

## 基本課題Ⅰ 人権（女性の人権及び性を尊重する）

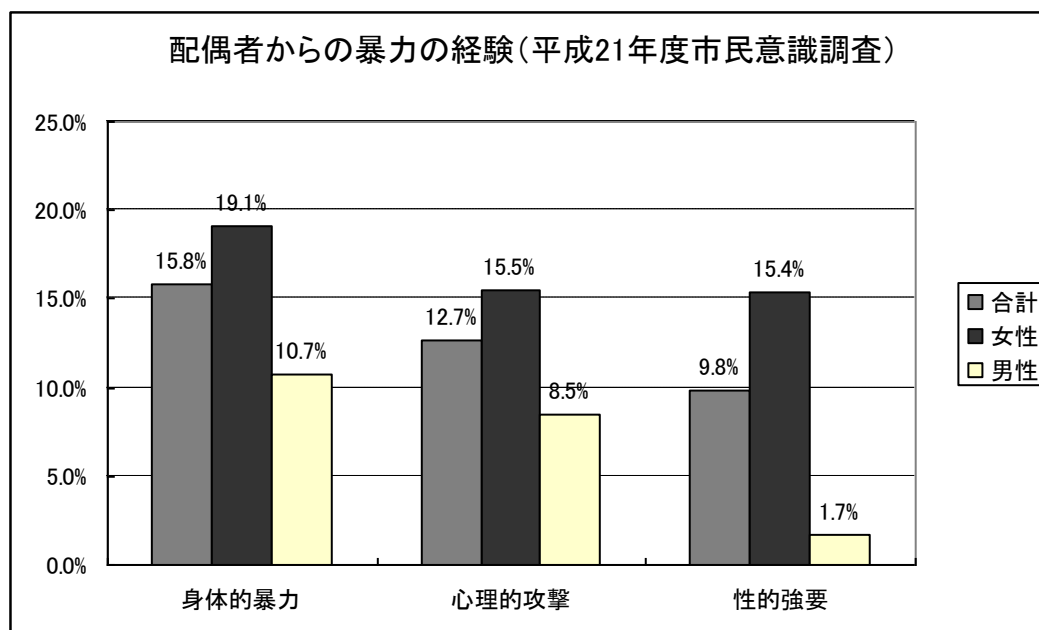
### 目標1 男女の人権を尊重するための環境づくり

人権尊重の環境づくりのために、次の施策に取り組みました。

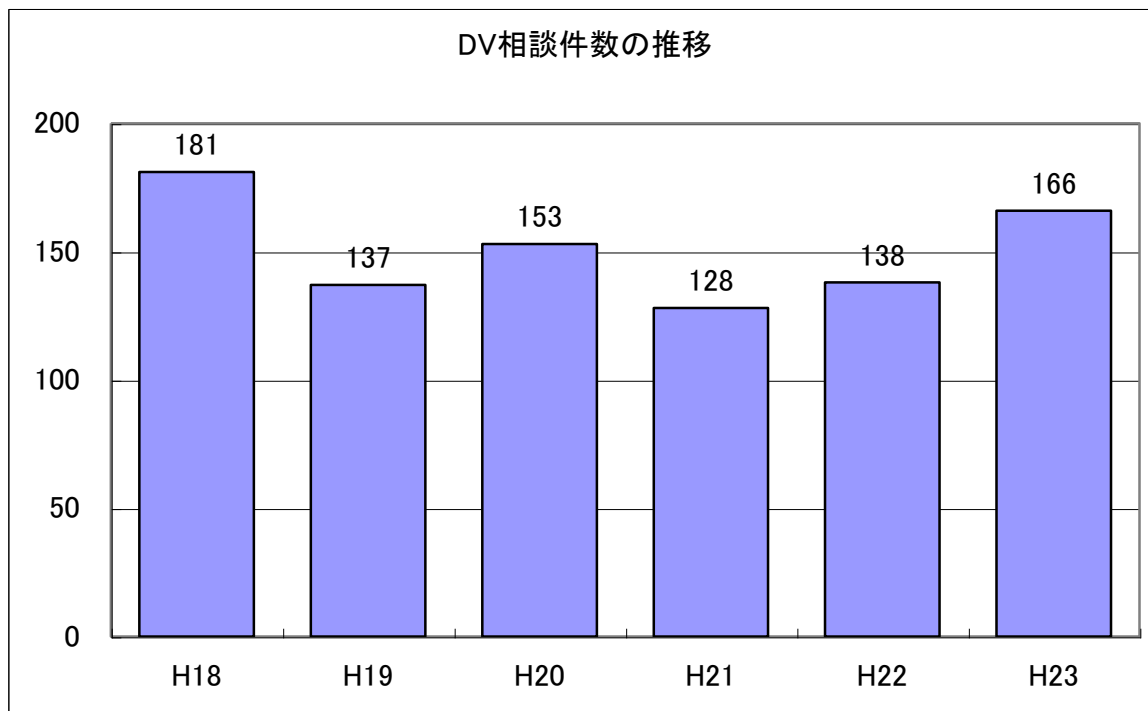
- (1) 女性に対するあらゆる暴力の排除
- (2) メディアにおける女性の人権の尊重
- (3) 国際社会における男女平等の推進
- (4) 人権の尊重と心の健康支援

#### 状況

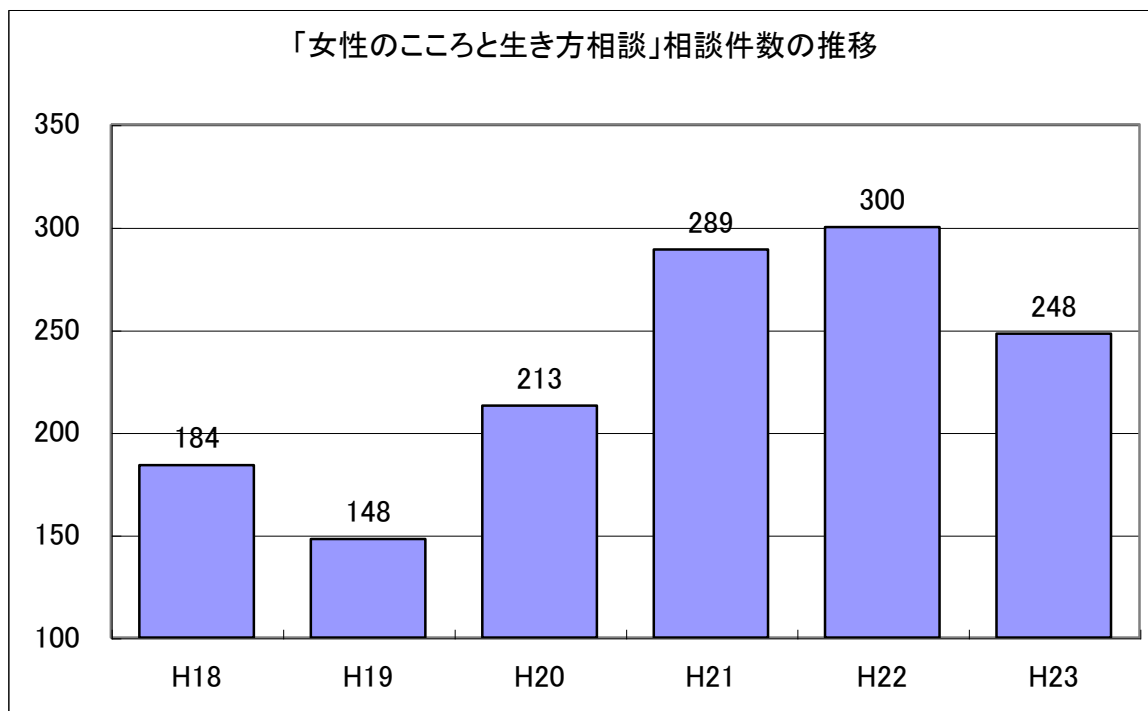
女性男性とも、配偶者からの暴力の経験がある人がいることがわかっています。



柏市においても、DV被害について相談がよせられています。



女性のこころと生き方相談は、生き方、夫婦、家族、健康など、女性がさまざまな悩みを抱えている状況が伺えます。



## 特に取り組んだこと

### 1 「女性に対する暴力をなくす運動キャンペーン」を実施しました

#### ◇女性に対する暴力をなくす運動街頭キャンペーン（平成23年11月18日）

柏駅前ではDVの防止や相談促進のために千葉県、千葉県警察、市民団体のかたとともに相談の案内のチラシと女性相談の電話番号を記載したペンの配布、警察音楽隊の演奏などを行いました。

**男女共同参画室**



街頭キャンペーンでは、人気のマスコットが登場

#### ◇「女性に対する暴力をなくす運動」企画図書展示（平成23年11月12日～27日）

図書館本館ロビーで、DV・デートDVに関する本や、自分の気持ちを大切にするためのアサーティブに関する本の展示を行いました。男女共同参画室でオリジナルDV防止ポスターを作成、図書リストや相談窓口を掲載したパープルリボンやオレンジリボンをつけたしおりを配布しました。

**庁内連携**



企画図書展示の様子



オリジナルDV防止ポスター

## 2 デートDV防止のための講座を開催、リーフレットを作成しました

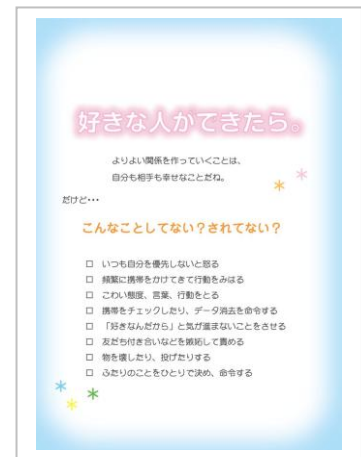
### ◇市内中学校（10校）でデートDV防止プログラムを実施

市民団体からの企画・提案を基に、団体と市が協力して中学生に向けて、相手を尊重し合う関係やどんなことが暴力になるかロールプレイを入れた講座を行いました。**庁内連携**

### ◇デートDV防止・相談窓口案内リーフレットを作成・配布

デートDV防止プログラムで暴力に気づいた人が相談できるように、相談窓口の案内をのせたリーフレットを作成、配布しました。プログラムを受講していない人も暴力に気づくことができるように参画eyeにも掲載しています。

**庁内連携**



## 3 在住外国人のための外国語による支援を行いました

### ◇外国人アドバイザー相談

外国人アドバイザーが、在住・在勤・在学の外国人の日常生活や市政に関する相談を行いました。現在、日本語だけでなく、英語、中国語、スペイン語、韓国・朝鮮語で対応しています。**協働推進課**

### ◇外国人に向けた多言語メール配信

柏市で生活する外国人に向け、緊急情報や市政情報を英語、中国語、スペイン語、やさしい日本語で配信しました。**協働推進課**



メール配信は、QRコードから申し込みできます

## 4 関係課と連携して自殺予防対策に取り組みました

### ◇相談窓口の案内や啓発講座などの自殺予防対策事業

悩み別に相談窓口を紹介したチラシを作成し、各関係機関から配布しました。  
また、「心の健康講座」などの啓発講座や、無料電話相談・無料対面相談窓口を開設しました。

平成24年度は、関係機関と連携した自殺予防対策事業に取り組みます。

- ・相談窓口案内チラシの配布
- ・柏市自殺予防対策フォーラム2012
- ・予防啓発のための駅前キャンペーン
- ・無料電話相談・無料カウンセリング相談
- ・自死遺族支援事業 わかちあいの会ひだまり
- ・ゲートキーパー養成研修
- ・いのちと暮らしの相談ナビ



お父さん眠れてる？2週間以上続く不眠はうつサイン…

■柏市オフィシャルウェブサイト 自殺予防対策に関するページ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/061600/p007585.html>

### 推進状況

#### 配偶者からの暴力が人権侵害であると認識する人の割合

	平成23年度		平成27年度目標
身体的暴力	<u>92.4%</u>	⇒	<u>100%</u>
言葉の暴力	<u>88.1%</u>	⇒	<u>100%</u>

※平成23年度は当時の直近の市民意識調査結果（H21）の数値です。

#### 配偶者等からの暴力に関する相談件数

平成23年度 166人 ⇒ 平成27年度目標 推移を確認していきます

## 主な取り組み

### (相談)

- ・女性のこころと生き方相談（男女共同参画室）
- ・母子自立支援相談（児童育成課）
- ・人権身の上相談（秘書広報課）
- ・法律相談（秘書広報課）
- ・市民相談（秘書広報課）
- ・職員向けにセクシュアル・ハラスメントに関する相談・苦情窓口（人事課）
- ・精神福祉相談（保健予防課）
- ・英語、中国語、スペイン語、朝鮮/韓国語による外国人相談（協働推進課）
- ・自殺対策として無料の電話相談、面談相談窓口を開設（保健福祉総務課）

### (DV対策)

- ・DV関係課ネットワーク会議（男女共同参画室）
- ・母子緊急一時避難、相談支援（児童育成課）
- ・高齢者緊急一時避難保護を実施（福祉活動推進課）
- ・緊急一時避難相談対応（男女共同参画室）

### (その他)

- ・女性、男性双方に配慮した表現の広報、出版物、ホームページ作成（秘書広報課）
- ・柏市自殺対策推進条例（平成23年6月27日公布・施行 平成27年3月31日まで）
- ・自殺予防対策連絡会議設置（保健福祉総務課、保健予防課）
- ・自殺予防対策フォーラム開催 参加者134名（保健福祉総務課）
- ・自殺予防街頭キャンペーンを3月に実施（保健福祉総務課）
- ・自殺予防のための出前講座 受講者数約80名（保健予防課）

## 今後の取り組み

- ・母子自立支援プログラム策定等事業の継続（児童育成課）
- ・就業支援講習会等事業の充実（児童育成課）
- ・自殺予防対策フォーラム開催（保健福祉総務課）
- ・自殺予防ゲートキーパー養成講座（保健福祉総務課）
- ・啓発資料「柏市『男女共同参画をめざす教育』」の作成・配付（教育研究所）

## 目標2 女性の生涯を通じた健康支援

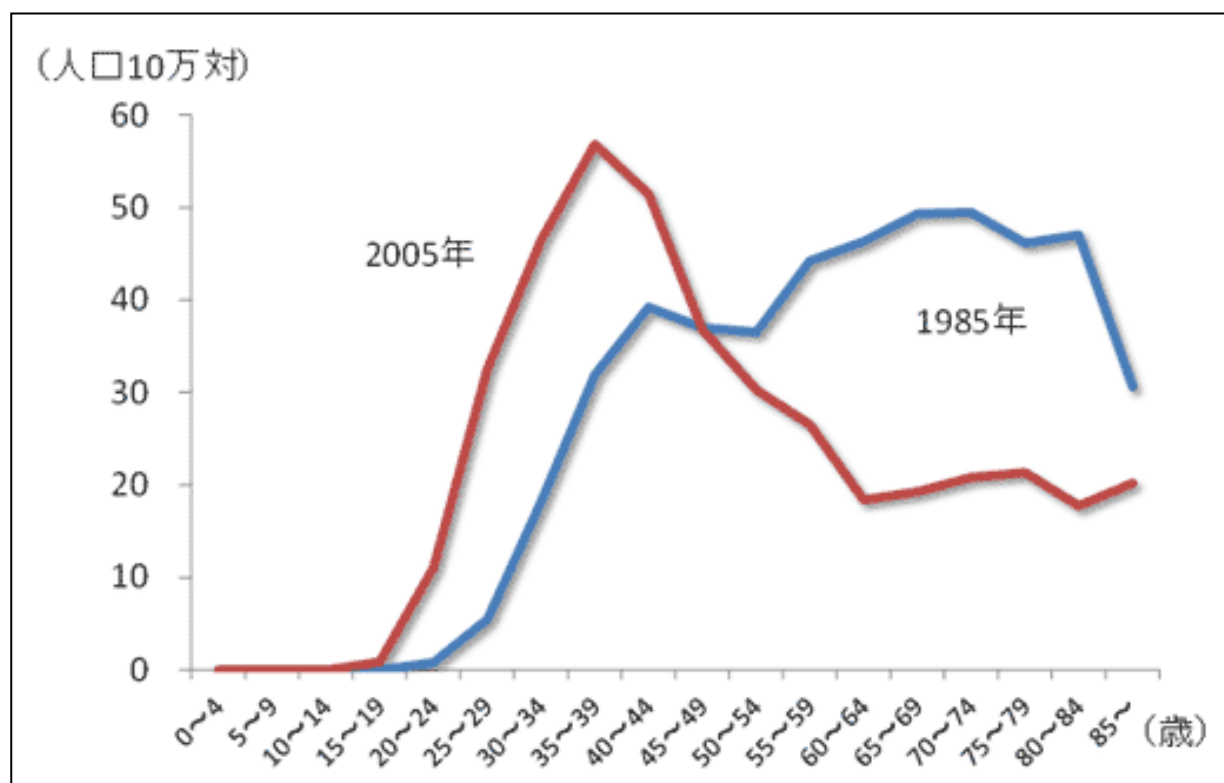
性に対する理解を進めるために、次の施策に取り組みました。

- (1) 性と生殖の健康・権利の理解と普及
- (2) 女性の健康保持と増進

### 状況

女性も男性も健康に自分らしく過ごせるように、男女の身体的性差を理解しながら健康づくりを目指しています。女性特有の病気の1つの子宮頸がんは、20歳、30歳代でかかる方が増えており、がん検診を呼びかけていく必要があります。

### 子宮頸がん（上皮内がんを含む）発生率の推移



国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

## 特に取り組んだこと

### 1 乳がん予防のための「マンモグラフィサンデー」を実施しました

#### ◇マンモグラフィサンデー（平成 23 年 10 月 16 日）

乳がん予防月間に柏駅前で、乳がんに関する正しい知識の普及や早期発見のためにマンモグラフィ検診を受けることの重要性を呼びかけました。リーフレット等の配布、自己触診モデルの展示、医師や保健師によるアドバイスなどを実施しました。**成人健診課**



街頭キャンペーンの様子



保健師が乳がん検診をご案内

### 2 女性のための各種健康診査を実施しました

#### ◇乳がん検診、子宮がん検診、女性の基本 35 を実施

女性の健康支援として、がん検診と出産・子育て期の健康状態の確認のための検診を行いました。

がん検診は土曜日の検診日を設けることで、平日が忙しいかたでも検査を受けやすい体制を実現しました。また、女性の基本 35 受診者に対し健康づくり相談等で事後フォローを実施しました。**成人健診課**

#### ◇がん検診の受検促進のための啓発活動

乳がん、子宮がん検診の対象年齢のかたに「検診登録勸奨通知」やがん検診促進のための「無料クーポン券」送付による啓発を行いました。**成人健診課**



## 推進状況

### 「女性の基本35」の受検者数

平成23年度 332人 ⇒ 平成27年度目標 550人

※「女性の基本35」は、女性の健康支援のために柏市が独自で実施している検診です。対象年齢のかた全員に個別通知しています。

### 乳がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成23年度 23,931人 ⇒ 平成27年度目標 26,000人

### 子宮がん検診の受検者数（後期計画新設目標）

平成23年度 20,663人 ⇒ 平成27年度目標 27,000人

## 主な取り組み

- ・エイズ相談やHIV等抗体検査（HIV、クラジミア、梅毒、B型肝炎、C型肝炎）実施、普及習慣や世界エイズデーに併せた啓発（保健予防課）
- ・思春期保健関係者会議、健康教育実施（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・子宮頸がん予防ワクチン公費助成の実施（地域健康づくり課）
- ・家庭婦人スポーツ大会の開催（スポーツ課）

## 今後の取り組み

- ・各種健康診査（乳がん検診、子宮がん検診、女性の基本35）の継続実施、受診促進（成人健診課）
- ・医師会、助産師会、市民団体、PTA等との連携による、公立小・中学校で思春期保健健康教育推進（地域健康づくり課、学校保健課）
- ・にこにこダイヤルかしわ（妊娠、出産、子育ての悩み相談）（地域健康づくり課）
- ・ノースモッ子教室（学校保健課・地域健康づくり課）